CORONA

コロナ石油ファンヒーター（強制通気形開放式石油ストーブ）

取扱説明書

正しく使って上手に節約

GT-326Y

このたびは、コロナ石油ファンヒーターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」と共に大切に保管してください。

もくじ

1 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または火災の可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合はガソリン禁止）が描かれています。

❗記号は行為を指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な行為の指示）が描かれています。

⚠ 危険（DANGER）

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

⚠ 警告（WARNING）

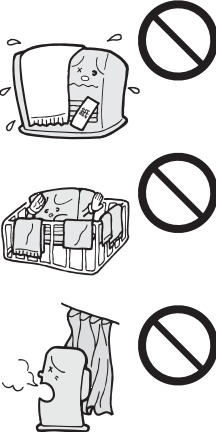
スプレー缶厳禁

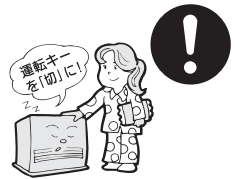
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発し、危険です。

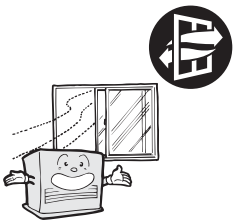
- 特に、ボンベがセットされたカセットコンロなど危険ですので、温風のあたるところには置かないでください。

温風吹出口をふさがない

- 衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

- ストーブガードなどの囲いに干し物を掛けたり、衣類・紙などで温風吹出口や空気取入口をふさいだ場合や、カーテンなどで背面の温風空気取入口がふさがれると、本体が過熱して、操作部などが変形したり、やけどや故障・破損するなど大変危険です。

寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。又、人目の届かないところでは、使用しないでください。
不完全燃焼や異常燃焼・火災のおそれがあります。

換気必要

換気せずに使用しつづけないでください。
酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
使用中は必ず１時間に１～２回（１～２分）換気して、新鮮な空気を補給してください。
換気が十分におこなえない場所（窓が凍結している部屋、地下室など）では、使用しないでください。

可燃性ガス使用厳禁

ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー、ガソリン）、スプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

⚠ 注意（CAUTION）

カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそば、ほこりの多い場所などでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。

給油時消火

給油は、必ず消火してからおこない、こぼれた灯油は、よくふきとってください。
火災のおそれがあります。

⚠注意(CAUTION)

指や異物を入れない

温風吹出口やファンヒーターの内部には、紙・布・プラスチックなどの異物を入れないでください。
発煙・発火のおそれがあります。
温風空気取入口の中に、指や棒などを差しこまないでください。
けがをするおそれがあります。

油漏れ確認

給油口は確実にしめ、給油口を下にして、油漏れがないことを確かめてください。
給油口が確実にしまっていないと簡単に開いて、火災のおそれがあります。

居室内給油禁止

給油は、必ず火の気のないところでおこなってください。
火災のおそれがあります。

異常時使用禁止

におい、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

- 緊急時は電源プラグを抜いて消火してください。

ほこりの除去

エアーフィルタは、週１回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどでフィルタがつまると、異常燃焼のおそれがあります。

温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

- お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになる場合は、周囲の人が十分注意してください。
- 衣類などを乾燥した場合、素材によっては色あせすることがあります。

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、温風吹出口付近が高温となりますので、手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。

- 小さいお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

分解修理・改造の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

シリコーン配合製品に注意

ファンヒーターをご使用のお部屋では、枝毛用コート液・化粧品・つや出し剤などシリコーン配合の商品を使用しないでください。
燃焼部にシリコーン酸化物が付着し、点火ミスや途中消火などの原因となります。

シリコーン配合の商品には、
- ヘアケア製品(ヘアートリートメント、ムース、枝毛用コート液)
- 家具や床のつや出し剤
- 化学ぞうきん
- ガラスクリーナー
- 制汗剤　などがあります。

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差しこむ

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差しこんでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。
ぬれた手での抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり及び金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。
- 水平でない場所、不安定な場所
- 風のあたる場所、部屋の出入口及び屋外
- マントルピースなどファンヒーターが囲われる場所
- ほこりや湿気の多い場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所又はたまる場所
- 直射日光の当たる場所、温度の高い場所
- 温室、飼育室など人のいない場所
- 標高が1500mを超えるような高地
- 理・美容室、クリーニング店などスプレーや化学薬品を使う場所

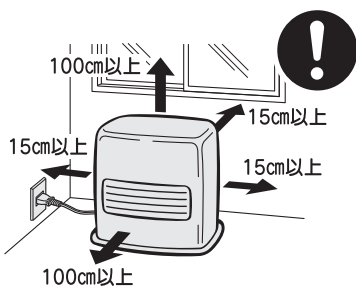
傾き・振動注意

水平な場所で使用してください。
振動の激しいところでは、使用しないでください。
異常燃焼や誤作動の原因になります。

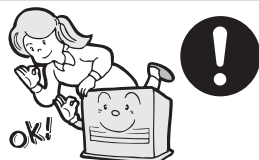
使用前に

⚠注意(CAUTION)

可燃物との距離を離す

燃えやすいものや障害物とは、必ず右図に示す距離をとって設置してください。特にカーテンなどがファンヒーターにふれないようにしてください。火災の発生するおそれがあります。

- 壁などに近づけすぎますと、本体内部が過熱して安全装置が作動することがあります。

正常燃焼の確認

正常に燃焼していることを確かめてください。(8ページ参照)

- 燃焼に必要な空気の濃度が薄くなる高地(標高500m～1500m)では、高地補正が必要です。
  標高1000m～1500mでの高地補正は、お買い求めの販売店にご相談ください。(7ページ参照)

運搬するとき

ファンヒーターを運搬する場合は、給油タンクを抜き、油受け皿内の灯油を抜いてください。
運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

保管時にしていただくこと

長期間使用しないとき又は保管するときは、必ず灯油を抜いてください。
傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
火災のおそれがあります。

日常のお手入れ時の注意

日常の点検・手入れは必ずおこなってください。
点検・手入れは消火後ファンヒーターが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。やけどや感電のおそれがあります。(11～12ページ参照)

廃棄するとき

ファンヒーターを廃棄処分するときは、必ず給油タンク・固定タンク内の灯油を給油ポンプなどで抜き取ってください。(12ページ参照)
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。

変質灯油禁止

変質灯油(持ち越した灯油)、不純灯油(水・ごみなどが混入した灯油など)を使用しないでください。
異常燃焼や故障のおそれがあります。

お願い(NOTICE)

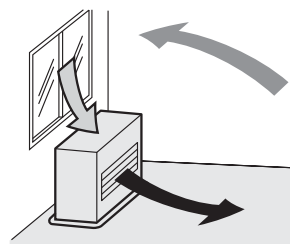
灯油の廃棄

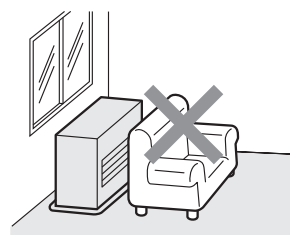
灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

2 使用する場所

効果的に使用するために

窓の下や壁面に設置

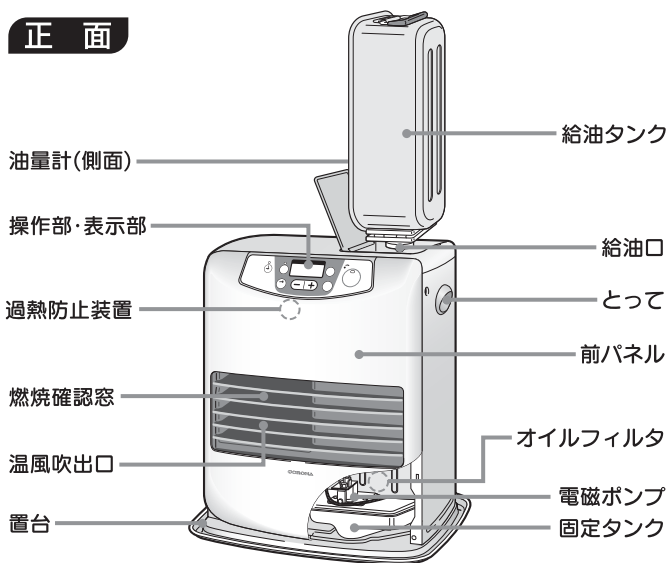
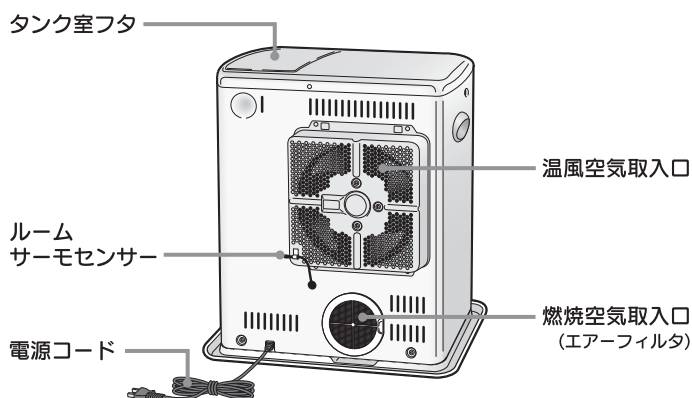
- 外気に接する窓の下や壁面に置くと、冷気がファンヒーターで暖められ、温風として対流しますので効果的です。

温風の循環を妨げないで

- 温風吹出口の前面に障害物を置かないでください。
  - 障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、本体の温度が上昇して危険です。
- 温風吹出口側の空間を広くとれる場所を選んでください。

ご注意
- 熱に弱いカーペットや床の上で長時間使用すると、変色したり、そり返ることがあります。
  熱に強いマットなどを敷いてください。
- 移動するときは引きずらないでください。床面、畳、カーペットに傷をつけたり、本体底面の塗装がはがれてさびの原因になるおそれがあります。

3 各部の名称

外観図・構造図

正　面

背　面

運送時の傷を防止するために操作部・表示部の表面に保護シートを貼っていますので、取り除いてください。(コーナー部分にセロハンテープを貼り付け、いっしょにはがすとより簡単に取り除けます。)

操作部・表示部のなまえとはたらき

●キー操作は、１回(ピッ)と２回(ピピッ)の音で操作内容をお知らせします。　(□ 詳しい説明のあるページです。)

給油表示 7

油切れにより、自動消火する20～40分位前と自動消火したときに点滅します。
油切れによる自動消火時は運転ランプが早い点滅となります。

運転キー（運転ランプ） 8

点火・消火するときに押します。
操作音　点火時：ピッ
　　　　消火時：ピピッ

ランプ　点　　滅：予熱中
　　　　点　　灯：燃焼中
　　　　早い点滅：なんらかの原因で自動消火

秒速点火キー 9

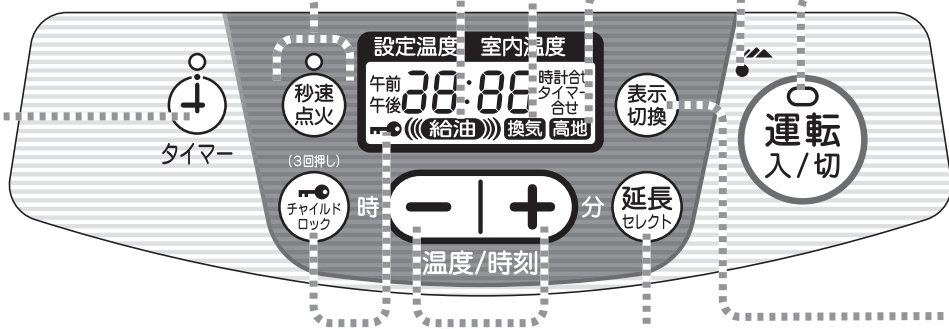
秒速点火のセット・解除をするときに押します。
(操作音　セット：ピッ，解除：ピピッ)
秒速点火セット時ランプが点灯します。

換気表示

運転が1時間燃焼するごとに1分間点滅して、換気時期をお知らせします。

ご注意 **換気表示にたよらず１時間に１～２回必ず換気してください。**

高地切替スイッチ 高地切替表示 7

標高が500m以上の場所で使用する場合にセットします。
高地コースにセットされているときに 高地 が表示されます。

タイマー運転キー 10

タイマー運転のセットをするときに押します。また、タイマー運転中、タイマー運転を解除するときに押します。(操作音：ピッ)
タイマーセット状態とタイマー運転時にランプが点灯します。

延長時間セレクトキー 8

運転を延長するとき、運転残り時間をセレクトするときに押します。(操作音：ピッ)

１回押し：３時間
２回押し：２時間
３回押し：１時間

表示切換キー 5

1回押すごとにデジタル表示が切りかわります。(操作音：ピッ)

チャイルドロックキー チャイルドロック表示 9

チャイルドロックのセット・解除をするときに３回押します。(操作音：ピッ)
チャイルドロックがセット状態のときに 🔑 が表示されます。

時刻合せキー 10

現在時刻とタイマー時刻を合わせるときに押します。
時：時合わせ (操作音：ピピッ)
分：分合わせ (操作音：ピッ)

温度キー 9

設定温度を変えるときに押します。

－：温度を下げる (操作音：ピピッ)
＋：温度を上げる (操作音：ピッ)

表示部

注）イラストは説明のため全部点灯・表示した状態にしてあります

秒速点火　設定温度　室内温度　午前 午後 88:88 時計合せ タイマー合せ　給油　換気　高地　表示切換

	デジタル表示部		表示切換
温度表示	設定温度 室内温度 22 18	●運転中（タイマー運転中） 左側：設定温度表示(12℃～30℃) 右側：室内温度表示(0℃～35℃)	キーを押すと表示が切りかわります 1
現在時刻表示	設定温度 室内温度 午後 10:35	●停止中（タイマーセット中） "時計合せ" 消灯 左図は 午後10時35分 の例	
時計合せ表示	設定温度 室内温度 午前 8:30 時計合せ	"時計合せ" 点灯 左図は 午前8時30分にセットの例 5秒以上放置すると1に戻ります	2
タイマー合せ(時刻)表示	設定温度 室内温度 午前 6:30 タイマー合せ	"タイマー合せ" 点灯 左図は 午前6時30分にセットの例 5秒以上放置すると1に戻ります	3
再通電表示	設定温度 室内温度 -- --	電源プラグをコンセントに差しこんだとき(現在時刻が未セット)や停電後の再通電のときの表示	
自動消火表示	設定温度 室内温度 0FF	点滅：消し忘れ消火装置による自動消火15分前～ タイマー運転による1時間自動消火15分前～ 点灯：消し忘れ消火装置による自動消火 タイマー運転による1時間自動消火	
エラー表示	設定温度 室内温度 E9	E9 表示：対震自動消火装置の作動 ※再度、点火操作をしてください。 その他のE表示については、12ページを参照してください。	

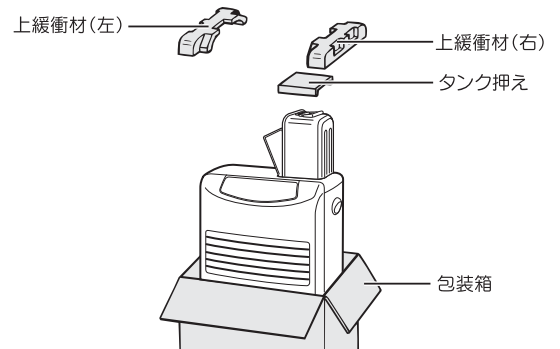
4 使用前の準備

使用前の準備

包装箱からファンヒーターを出す

●包装箱からファンヒーターを取り出し、緩衝材を取り除いてください。

- 包装箱、緩衝材はファンヒーターの保管に必要です。また、取扱説明書も忘れずに保管してください。

●次のことは、工場での燃焼テストによるもので、異常ではありません。
- 固定タンクに少量の灯油が残っている。
- オイルフィルタがぬれている。
- 温風吹出口から見える燃焼筒（炎を囲んでいる筒）が変色している。

使用燃料

燃料は必ず灯油（JIS１号灯油）を使用してください。

● ⚠危険 **ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。**

● ⚠注意 **変質灯油、不純灯油は絶対に使用しないでください。**

●添加剤や助燃剤などは使用しないでください。
●灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光をさけた場所に保管してください。

灯油とガソリンの見分けかた

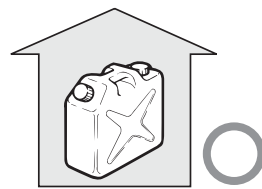
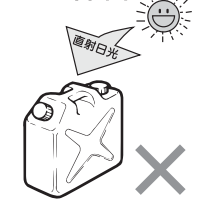
指先に燃料をつけ、息をふきかけます。
（火の気のない所でおこなってください。）

灯油はぬれたまま

ガソリンはすぐ乾く

灯油の保管のしかた

●灯油は必ず火気、雨水、ごみ、高温および直射日光をさけた場所に保管してください。
●直射日光が灯油を変質させるため、着色した灯油用のポリタンクをお使いください。

良い保管

悪い保管

変質灯油・不純灯油とは……

昨シーズンより持ち越しの灯油

長期間日光にあたる所や温度の高い所に保管した灯油

容器のふたが開けてあったり、乳白色のポリ容器で保管した灯油

水・ごみや灯油以外の油がほんのわずかでも混入した灯油

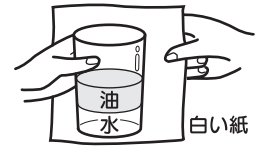
●極度に変質したものは、黄色味がかったり、すっぱい臭いがします。
●灯油はシーズン中に使いきりましょう。

変質灯油の見分けかた

コップに水を入れ、その上に灯油を入れて、背後に白い紙をあてます。

良質灯油

水と同じ無色透明

変質灯油

少しでも色がついている灯油

●ただし無色透明でもすっぱい臭いがすれば変質灯油です。

■変質灯油や不純灯油を使用すると、機器の故障の原因になります。
- 気化筒にタールがたまり、白煙が出て点火しにくくなったり、強い臭いがして、消火しにくくなります。
- 異常燃焼や途中消火など故障の原因になります。

■変質灯油や不純灯油を使用したときは…
- 給油・固定タンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で2～3回洗ってから使用してください。（悪い油が残っていると再発します。）
- 悪い油を抜きとっても効果のないときは、お買い求めの販売店又は、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。

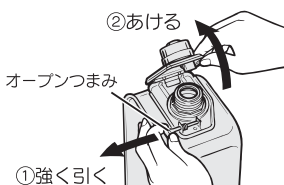
ご注意
- 変質灯油、不純灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
- 変質灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買い求めの販売店にご相談ください。

給油

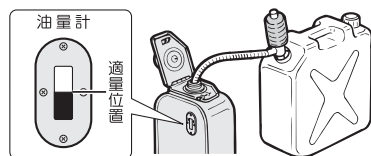
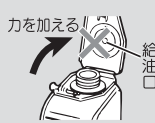
● ⚠注意 給油は必ず消火してから火の気のないところでおこなってください。

給油の手順と注意

1.給油タンクを取り出し、給油口を開く

●オープンつまみを強く引いて、給油口を開いてください。

- 燃焼中は絶対に給油タンクを取り出さないでください。
- 給油タンクは、ぶつけたり落としたりしないよう、ていねいに取り扱ってください。

2.給油する

●市販の給油ポンプなどを使用して、油量計を見ながら給油してください。
●油量計の半分くらいまで色が変わったら、給油をやめてください。

- 灯油が油量計のところまで入ってくると、黒色に変わってきます。
- 給油口に力を加えて変形させますと、油漏れの原因になりますので、変形させないでください。
- 給油ポンプのホースが抜けないよう注意してください。

3.給油口をしめる

● ⚠注意 **給油口は、確実に「パチン」と音がするまで図の位置を強く押してください。**
給油口を下にして、油漏れがないことを確かめてから、ファンヒーターに正しく静かに入れてください。固定タンクや給油タンクに強い衝撃をあたえると、油漏れや故障の原因になります。
●給油口の弁部などに、ごみなどがはさまっている場合は取り除いてください。

ロックの確認

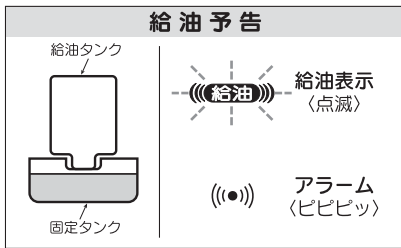
給油口をしめたあと、先端を指で持ち上げ、開かないことを確かめてください。

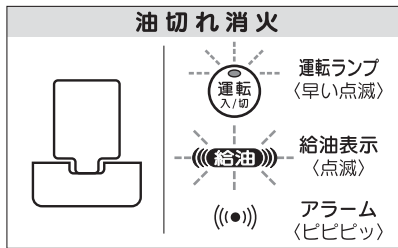
- こぼれた灯油はよくふき取ってください。
- 給油タンクが正しくセットされていないと、不着火や途中消火の原因になります。

- ⚠注意 **給油は必ず消火してからおこない、ファンヒーターの近くでは絶対に給油しないでください。**
- 冷えたところで給油し、給油量が少ない（半分以下）場合は、給油口を開いたまま、しばらく室温になじませてからセットしてください。

給油のめやす

●固定タンク内の灯油が少なくなると
- 給油表示…………………………点滅
- アラーム音 ピピピッ

でお知らせしますので早めに給油してください。

●給油しないで使用し続けると、油切れとなり、自動消火します。
- 運転ランプ………………早い点滅
- 給油表示…………………………点滅
- アラーム音 ピピピッ　でお知らせします。

約20〜40分

ご注意
- 灯油がなくなって消火した場合は、必ず給油してから点火操作をおこなってください。
  給油をしないと再運転できません。

点火前の準備と確認

水平な場所に設置

水平で安定のよい床の上に設置してください。

- 水平に設置されていれば、対震自動消火装置は自動的にセットされます。
- 傾斜した場所や、振動の激しい場所で使用すると、燃焼不良の原因になります。又、対震自動消火装置が正しく作動しません。

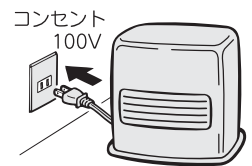
油漏れの確認

置台・給油タンクに、油漏れ・油たまりや油のにじみがないか確認してください。

- 油漏れのときは、使用を中止し、給油タンクを取り出してからお買い求めの販売店にご相談ください。

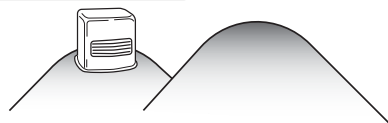
電源の接続

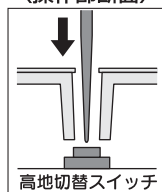
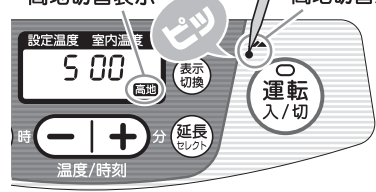
電源プラグをコンセントに刃の根元まで確実に差しこんでください。

ご注意　電源プラグ·コードの発熱·発火を防ぐために…
- 電源は、必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。
- 電源プラグの抜き差しは、必ずプラグを持っておこなってください。
- ほこりなどの付着がないか、ときどき点検・掃除をしてください。

高地補正

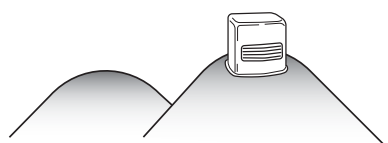
標高が500mを超える場所では、酸素不足により黄火燃焼(赤火)になる場合がありますので高地補正をしてください。

● **⚠注意 標高1,500mを超える高地では使用しないでください。一酸化炭素中毒の原因になります。**

標高 500〜1,000m

〈標高が 500m 以上の主な都市〉

長野県―松本市、岡谷市、飯田市、諏訪市、小諸市、伊那市、佐久市、大町市、茅野市、塩尻市、駒ヶ根市
山梨県―富士吉田市
岐阜県―高山市
栃木県―日光市　など

高地切替表示　高地切替スイッチ

- 表示切換キーの上にある高地切替スイッチをつまようじなどの細い棒状のもので１回押します。表示部に「5 00」高地 と表示されると設定完了です。(「5 00」の表示は、３秒間で消えます。)

標高 1,000〜1,500m

〈標高が 1,000m 以上の主な都市〉

長野県―木曽町、川上村、原村、南牧村
群馬県―草津町　など

高地切替表示　高地切替スイッチ

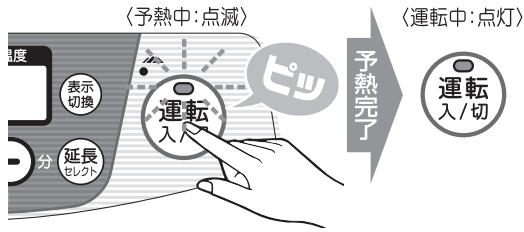
- 表示切換キーの上にある高地切替スイッチをつまようじなどの細い棒状のもので２回押します。表示部に「10 00」高地 と表示されると設定完了です。(「10 00」の表示は、３秒間で消えます。)

もとに戻す場合(高地補正の解除または500m以下での使用)

- もとに戻す場合（高地補正の解除または500m以下での使用）は、高地切替スイッチを２回、または１回押してください。
- 表示部に「0」と表示され、高地 表示が消えると、高地補正の解除は完了です。(「0」の表示は、３秒間で消えます。)

5 使用方法

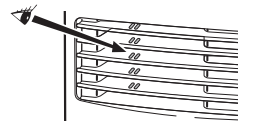
点火

運転キーを押す

●運転ランプが点滅します。
●デジタル表示部に「設定温度」と「室内温度」が表示されます。
●予熱が完了すると自動点火し、運転ランプが点灯に変わり、運転を開始します。

- 着火時、放電音と同時に着火音を発しますが、異常ではありません。
- 点火操作から放電（着火）まで、室温により多少変化しますが、約2分30秒の予熱時間がかかります。（低温時（5℃以下）は、予熱時間が通常より約１分程度長くなります。）
- 点火時や消火時には、白煙や臭いがでますが異常ではありません。
（寒いときの点火時には、燃焼ガス中の水蒸気が白く見えるため、通常より多めの白煙が出ます。）

炎の状態の確認

●着火しましたら、燃焼確認窓から燃焼状態を確認してください。

- 出荷時に燃焼状態を調節してあります。万一、燃焼状態が不適正の場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

○ 正常燃焼
青い炎の中に少し黄色い炎が混じっている。
（バーナが赤熱することがありますが異常ではありません。）

× リフト燃焼
炎が飛んだり浮いたりし、音や臭いが出て、立消えすることがある。

× 黄火燃焼
黄色い炎が連続して全周に出ている。

■初めてのご使用・シーズン初めの初使用時には………
- 給油タンクをセットしてから、４～５分位待って点火操作をしてください。
- 防錆油や塗料などが焼けるため、煙や臭いがでます。しばらくの間、換気をしながらご使用ください。
- 送油経路の空気だまりなどにより、１回で着火しないことがあります。点火操作を２～３回くりかえしてください。
- 着火時、送油経路への空気の混入により、煙や臭いが発生し、一時的に炎が大きくなることがありますので、温風吹出口に顔など近づけたり物を置いたりしないでください。
- 予熱時間が通常より少し長くなることがあります。

消火

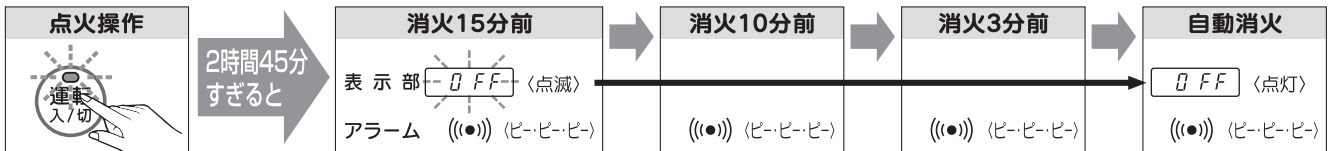
運転キー を押す

●消火し、運転ランプが消灯します。

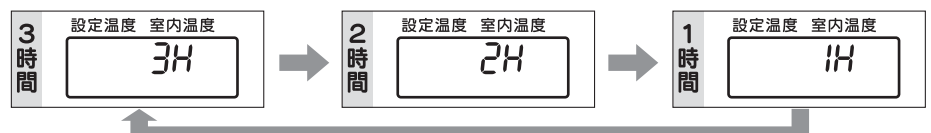
- 消火操作後、約１秒後に燃焼を停止します。
- 消火後、本体内部が冷却するまで送風ファンが回ります。送風が止まるまで電源プラグを抜かないでください。
- 消火操作後は、火が消えていることを確かめてください。
- 消火時、電磁ポンプの制御音（ヒューンというような音）がします。

ご注意
- 緊急時以外に、ファンヒーターに強い衝撃を与えたり、電源プラグを抜いての消火はしないでください。
- 消火直後に再点火すると、着火音が多少大きくなります。
- むやみに点火、消火をくりかえすと、臭いの原因になります。

消し忘れ消火装置

万一の消し忘れを防止するため、点火操作後３時間で自動消火し、アラームと OFF 表示の点灯でお知らせします。

運転を延長するとき（延長時間セレクト）

延長時間セレクトキーを押す

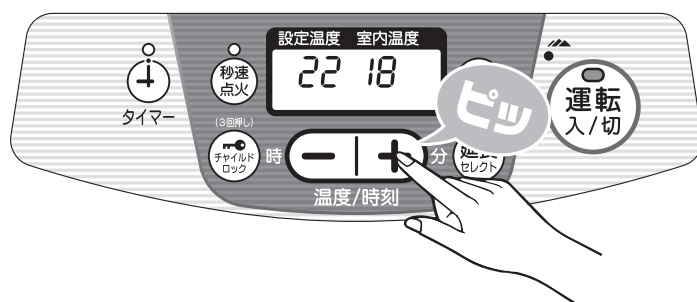
●連続で運転したいときは、自動消火する前に延長時間セレクトキーを押してください。押したときから、さらに設定した時間だけ運転を継続します。
●延長時間セレクトキーを１回押すごとに、運転残り時間が次のように選べます。

延長時間セレクトキーを押している間、デジタル表示部には延長時間が表示されますが、手を放すと自動的に温度表示に切りかわります。

● ⚠警告 長時間連続して運転するときは、お部屋の換気に十分気をつけてください。

使用方法

室温の調節

温度キーを押す

●温度キーを押して希望の温度に合わせてください。押すごとに１℃ずつ変わり、押し続けると連続して変わります。
●デジタル表示部の設定温度を見ながらセットしてください。（12℃～30℃までセットできます。）
●一度セットすると、電源プラグを抜いたり、停電などがないかぎり、設定温度は記憶されます。

●初期設定温度は22℃です。
●ルームサーモセンサーにより、設定温度に応じて自動的に火力調節をおこないます。
●ルームサーモセンサーはファンヒーター周辺の温度を感知していますので、お部屋の温度計とは数値が一致しないことがあります。
●ファンヒーターに直射日光やすきま風があたっていたり、他の光熱器具の影響を受けている場合には、ルームサーモセンサーが正確に作動しません。

秒速点火

点火時間を短縮させる機能です。

あらかじめ秒速点火をセットしておくと、運転キーを押してすぐに点火できます。

秒速点火キーを押す

●秒速点火ランプが点灯します。
●秒速点火ランプを点灯しておきますと、点火操作後、約５秒で点火します。
●秒速点火を解除するときは、もう一度秒速点火キーを押して、秒速点火ランプを消灯してください。

●あらかじめ秒速点火ランプを２分30秒以上点灯しておかないと、秒速点火しません。
●秒速点火は12時間たつと自動的に解除されます。
●秒速点火ランプが点灯しているときは、運転停止中のみ約100Wの消費電力がかかります。
●タイマー運転にすると秒速点火は自動的に解除され、秒速点火キーを押しても秒速点火ランプは点灯しません。
●低温時は点火時間が延びることがあります。

ご注意　●秒速点火ランプが点灯しているときは、運転停止中でも本体上部や温風空気取入口が熱くなります。

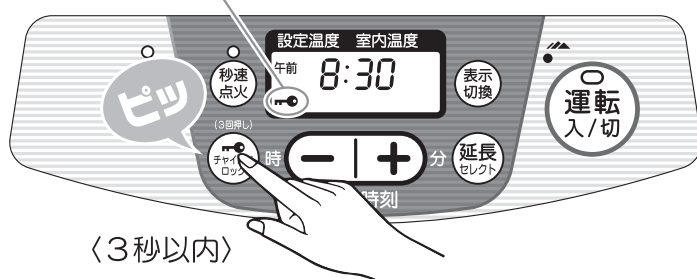
チャイルドロック

お子様のいたずら操作を防止します。

お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転キーを押しても点火しないようにしたいときに使用します。

チャイルドロックキーを3回押す

●チャイルドロックキーを３秒以内に３回押してください。運転中または停止中でもチャイルドロックできます。
●表示部に「🔑」と表示されるとセット完了です。
●チャイルドロックの解除は、再度チャイルドロックキーを３秒以内に３回押してください。

チャイルドロック表示

〈３秒以内〉

●運転中にチャイルドロックをセットすると、セット中は運転停止（消火）操作以外は受け付けません。※
●停止中にチャイルドロックをセットすると、セット中はすべての操作を受け付けません。※
※：但し秒速点火の解除とチャイルドロックの解除操作は受け付けます。
●３時間自動消火時及びタイマー運転による自動消火時にチャイルドロックを解除する場合、運転キーを１回押して「OFF」表示を解除してからおこなってください。「OFF」表示を解除しないと、チャイルドロックの解除はできません。

現在時刻の合わせかた

1.時計合せ表示にする

●表示切換キーを押して、デジタル表示部を時計合せ表示にしてください。

- 未セットの場合、初期表示は午後12:00となります。

2.時刻を合わせる

［例］午前８時30分に時刻をセット

●時刻合せキー(時)･(分)を押して、デジタル表示部の時刻を合わせてください。
●キーを押しつづけると、表示は連続して変わります。

- 時刻を合わせるときは、午前、午後をまちがえないよう注意してください。
- ５秒間操作がないとき、デジタル表示は自動的に元の表示にもどります。

タイマー運転

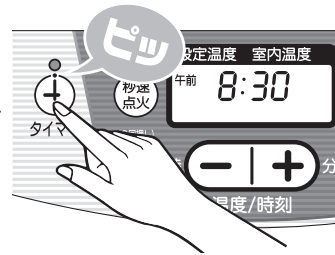
●**タイマーは点火専用です。**
セットした時刻になると運転を開始し、設定温度になるよう火力調節をします。
室温が低いときは、セットした時刻より早め（5～15分位）に運転を開始します。
●**点火後１時間運転すると、自動的に消火します。**
安全にご使用いただくため、点火後１時間で自動消火し、アラームと OFF 表示の点灯でお知らせします。（タイマーランプは点灯）

タイマー運転のしかた

1.タイマー合せ表示にする

●表示切換キーを押して、デジタル表示部をタイマー合せ表示にしてください。
●現在時刻の合わせかたと同様にして希望のタイマー時刻に合わせてください。

- タイマー時刻は、１度セットすれば記憶されます。
- 未セットの場合、初期表示は午前6:00となります。
- ５秒間操作がないとき、デジタル表示は自動的に元の表示にもどります。

2.タイマー運転キーを押す

●運転中、または運転キーを押した後、タイマー運転キーを押してください。
●タイマーランプが点灯し、デジタル表示部は時刻表示に切りかわります。
●タイマー運転を解除したいときは、運転キーを押してください。タイマーランプが消灯します。
●合わせた時刻になると、自動的に運転を開始します。

タイマー運転について

点火後1時間で自動消火します

タイマー運転中

運転ランプ〈消灯〉

タイマーランプ〈点灯〉

→ セット時刻になると →

自動点火

運転ランプ〈点灯〉

タイマーランプ〈点灯〉

→ 1時間すぎると →

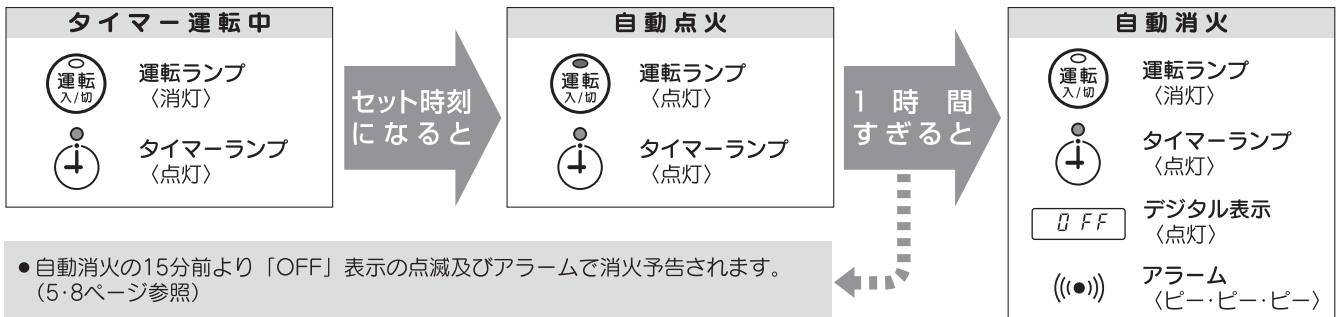
自動消火

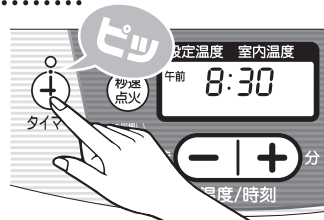
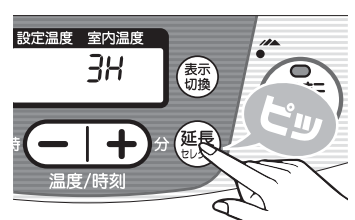
運転ランプ〈消灯〉

タイマーランプ〈点灯〉

デジタル表示〈点灯〉

アラーム〈ピー･ピー･ピー〉

- 自動消火の15分前より「OFF」表示の点滅及びアラームで消火予告されます。（5･8ページ参照）

続けて運転したいときは………

1.タイマー運転キーを押し、タイマー運転を解除します。

2.延長時間セレクトキーを押します。（8ページ参照）

- ⚠警告　長時間連続して運転するときは、お部屋の換気に十分気をつけてください。

ご注意
- タイマー運転は、特に周囲に可燃物がないことを確認してください。
- タイマーセット時刻を確認するときは、表示切換キーを押して、デジタル表示部をタイマー時刻表示にしてください。
- 未セットの場合や電源プラグをコンセントから抜いたとき、停電後再通電したときは、タイマー運転はしません。再度、現在時刻合わせ・タイマー時刻合わせをおこなってください。

6 日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後ファンヒーターが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

ご注意 燃焼部の分解、電気部品の分解や市販品との交換は絶対にしないでください。
- ファンヒーターおよびその周辺は、いつもきれいに掃除しておいてください。
- 故障・破損したものは使用しないでください。

使用ごと

周辺の可燃物の点検

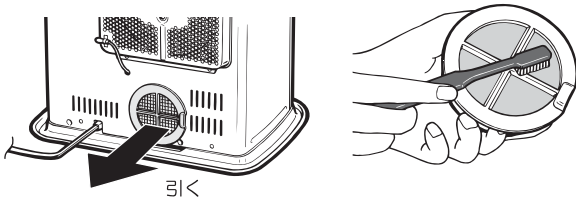
● ⚠注意 ファンヒーターの周辺には燃えやすいものを置かないでください。

油漏れ・油のたまり・油のにじみの点検

●油がもれていたり、油のたまり、にじみがないか点検してください。
●油漏れのあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

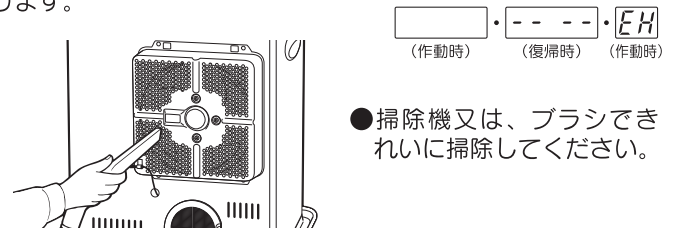
週に一回以上

エアーフィルタの掃除

⚠注意 エアーフィルタが、ごみやほこりで目づまりすると燃焼不良の原因になります。
●エアーフィルタをはずして、掃除機又は、ブラシできれいに掃除してください。

ご注意
- 水洗いをしたときは、よく乾燥させてから取り付けてください。
- エアーフィルタをはずしたままで使用しないでください。（はずしたままでご使用されますと、ごみ・ほこりなどが送風経路に侵入し、異常燃焼の原因になります。）

温風空気取入口の掃除

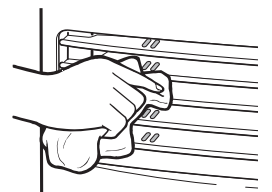
背面の温風空気取入口に綿ごみなどが付着すると風量が減少し、本体内部の温度が上昇して過熱防止装置が作動することがあります。

（作動時）・- - - -（復帰時）・EH（作動時）

●掃除機又は、ブラシできれいに掃除してください。

ご注意
- ルームサーモセンサーをむやみに曲げたり、ひっぱったりしないでください。
- 羽根や内部にごみやほこりなどが多く付着したときは、お買い求めの販売店又は、修理資格者のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

温風吹出口の掃除

温風吹出口に付着したほこりなどが焼けたり、白く変色することがあります。
●本体や温風吹出口の汚れは、本体が冷えてから、しめらせたやわらかい布でふき取ってください。しつこい汚れは中性洗剤を使用し、十分からぶきしてください。

ご注意
- 温風吹出口はホーロー仕上げですので強い力を加えないでください。変形したり、ホーローがはがれたりすることがあります。

月に1回以上

対震自動消火装置の点検

●燃焼中に本体をゆすり、対震自動消火装置が作動して消火するか確認してください。
作動するとデジタル表示部に E9 を表示します。

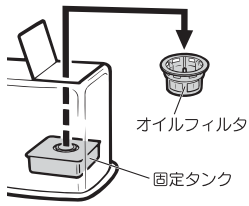
ご注意
- 対震自動消火装置は絶対に分解しないでください。

シーズンに1回以上

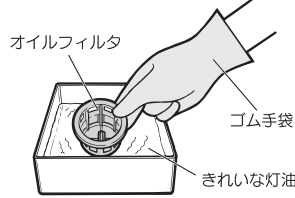
オイルフィルタ・固定タンクの点検

オイルフィルタや固定タンクに水やごみがたまると、給油タンクに灯油が入っていても…………………………
- 点火しない――――― E0・E2
- 点火しても途中消火する―― E4
- 炎がリフトし、臭いがする
- 給油表示が点滅し、運転しない

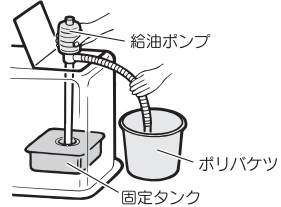
オイルフィルタ・固定タンクの掃除

1.オイルフィルタを取り出す

●固定タンクからオイルフィルタを取り出してください。

- オイルフィルタを取り出すとき、水やごみを固定タンクに落とさないよう注意してください。

2.きれいな灯油で洗う

●オイルフィルタの中の水やごみを取ってからきれいな灯油で洗ってください。
●ごみが取れにくい場合は、歯ブラシなどを使うと便利です。

- フィルタ部を破損させないよう注意してください。
- フィルタ部に水が付着した場合は、十分に乾燥させてください。

3.ごみや水を抜く

●固定タンク内にたまっているごみや水を市販の給油ポンプなどで抜いてください。

4.オイルフィルタをセットする

●オイルフィルタをもとどおりにセットしてください。

- こぼれた灯油はよくふき取ってください。

ご注意

- **水洗いは絶対にしないでください。水で洗うと灯油が通過しなくなります。**
- **オイルフィルタ及び固定タンクの掃除をおこなっても、点火しない・炎がリフトし臭いがする・途中で消火する場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**

7 定期点検

長期間ご使用になりますと、器具の点検が必要です。

●2年に1回程度、シーズン終了後などにお買い求めの販売店又は、修理資格者〔(財) 日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928) でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

愛情点検

長年ご使用の石油ファンヒーターの点検をぜひ!

こんな症状はありませんか	
	●油もれがする。 ●強いにおいがする。 ●運転中に異常な音がする。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため必ず販売店にご連絡ください。点検・修理についてのご費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

8 故障・異常の見分け方と処置方法

安全装置が作動して自動消火し、デジタル表示部にE表示でお知らせします。運転キーを押し(表示は消えます)、処置をしてください。処置後もE表示するときは、お買い求めの販売店にご相談ください。(修理を依頼されるときは、E表示値をお知らせください。)

表示	原因[安全装置]	処置方法
E9	●強い地震や振動、衝撃を受けたとき ●本体を傾けたとき [対震自動消火装置の作動]	●水平で安定した場所で使用してください。 ●地震によって作動した場合は、周囲の可燃物、本体の損傷、灯油のあふれなど異常がないことを確認した後、点火操作をしてください。(作動後は自動的にセットされます。)
E4	●途中失火したとき ●異常燃焼をしたとき ●不良灯油を使用したとき ●送油経路に水または、ごみがたまっているとき ●エアーフィルタの目づまりによる燃焼用空気不足のとき [不完全燃焼防止装置の作動]	●日常の点検・手入れ(11〜12ページ参照)をしてから点火操作をしてください。 ●良質の灯油を使用してください。 ●送油経路の水抜き、オイルフィルタの掃除をしてください。 ●エアーフィルタを掃除してから点火操作をしてください。
E0・E2	●点火ミスをしたとき ●異常燃焼をしたとき [点火安全装置の作動]・[燃焼制御装置の作動]	●日常の点検・手入れ(11〜12ページ参照)をしてから点火操作をしてください。
(作動時)・-- --(復帰時)	●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき [停電安全装置の作動]	●通電後、点火操作をしてください。 ●電源プラグを確認してください。
(作動時)・-- --(復帰時) EH(作動時)	●温風空気取入口や温風吹出口がふさがったとき ●温風吹出口の前面に障害物などがあるとき [過熱防止装置の作動]	●本体が冷えてから、温風空気取入口や温風吹出口の点検・清掃、周囲の確認をした後、点火操作をしてください。
OFF	●万一の消し忘れを防止するため、点火操作後3時間で自動消火します。 [消し忘れ消火装置の作動]	●点火操作をしてください。 (8ページ参照)
E1・E5・E6 E7・EP・EA	●電気系統の故障です。	●お買い求めの販売店にご相談ください。

●具合の悪いときは、次の表も参考にして点検・処置をしてください。
●処置方法により処置しても良くならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

現象／原因	点火しない	白煙が出てすぐとまる	使用中室内が臭う	使用中消火する	赤火で燃える	炎がリフトする	油漏れがする	E表示 E0 E2 E4	E9	EH	EA	処置方法
電源プラグがコンセントに差しこまれていない	●											コンセントに確実に差しこむ
停電中である	●											通電されるまで待つ
対震自動消火装置が作動した				●					●			再点火操作をする／安定した場所で使用する
給油タンクに灯油がない	●											給油する
給油口がしっかりしまっていない							●					給油口をしっかりしめる
不良灯油を使用している	●	●	●	●		●		●				良質の灯油を使用する
送油経路に水又は、ごみがたまっている	●	●		●		●		●				送油経路の水抜き、オイルフィルタの掃除をする
給油タンクの装着が悪い	●			●								固定タンクに正しく装着する
オイルフィルタが取り付けられてない	●			●								固定タンクに正しく装着する
送油経路接続部がゆるんでいる			●	●		●	●					販売店に修理を依頼する
エアーフィルタが目づまりしている	●	●	●	●	●			●				エアーフィルタを掃除する
過熱防止装置が作動した：温風吹出口がふさがれている			●	●						●		障害物を取り除く
過熱防止装置が作動した：温風空気取入口がほこりでつまっている			●	●						●		温風空気取入口を掃除する
室温異常上昇防止装置が作動した				●							●	窓をあけ、部屋の換気をする
消し忘れ消火装置が作動した				●								再点火操作をする
チャイルドロックがセットされている	●											チャイルドロックを解除する

次のような現象は故障ではありません。
●修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

	現象	説明
点火時・消火時	初めて使用するとき、煙や臭いがでる	耐熱塗料やほこりが焼けるためです。しばらく窓をあけて換気をしてください。
点火時・消火時	初めて使用するときや、シーズン初めの初使用時に1回で着火しない	固定タンクに灯油がみたされるまで4～5分位待って点火操作をしてください。送油経路の空気だまりなどにより、1回で着火しないことがあります。2～3回点火操作をくりかえしてください。
点火時・消火時	点火時や消火時に白煙や臭いが出る	点火時や消火時の多少の白煙や臭いは異常ではありません。
点火時・消火時	燃焼開始時や消火後に「ピチ・ピチ」という音がする	器具本体が熱により膨張、収縮するためです。
燃焼時	炎がオレンジ色に輝く	下記のような場合炎がオレンジ色に輝くことがありますが異常ではありません。 ●海岸に近い所など空気中に塩分が多い場合 ●空気中にほこりや水分が多い場合 ●超音波加湿器を使用している場合
燃焼時	使用中にときどき「ポコ・ポコ」という音がする	給油タンクから固定タンクの方に灯油が流出するときの音で異常ではありません。
燃焼時	使用中にときどき「コト・コト」という音がする	電磁ポンプの動いている音で異常ではありません。
その他	温風吹出口が汚れる	「日常の点検・手入れ」（11ページ）にしたがい掃除をしてください。

9 部品交換のしかた

部品交換のときの注意

ご注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要な場合には、お買い求めの販売店又は、修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店にご相談ください。

部品交換は **コロナ純正部品** とご指定ください。

消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

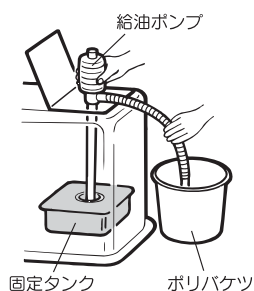
■特に消耗・劣化しやすい部品	■長期間の使用により消耗・劣化しやすい部品	■変質灯油・不純灯油の使用により劣化しやすい部品
（高温火炎中で使用される部品） ●点火プラグ ●炎検知器(フレームロッド)	●バーナヘッド ●バーナヘッドリング	●オイルフィルタ ●炎検知器(フレームロッド) ●ポンプフィルタ ●気化筒 ●電磁ポンプ

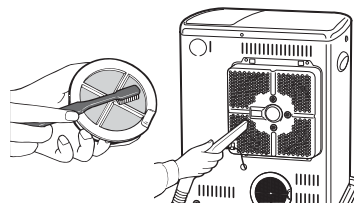
10 保管（長期間使用しない場合）

おしまいになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、次の要領でお手入れしてから保管してください。

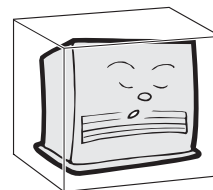
1.灯油を抜き取る

●給油タンクと固定タンク内の灯油を抜き取ってください。（12ページ参照）

ご注意
- 水、ごみなどを残したまま保管すると、さびや穴あきの原因になります。
- 灯油を抜かないと、保管時にこぼれたり、にじみ出たりして危険です。

2.掃除をする

●オイルフィルタの掃除をしてください。（12ページ参照）
●エアーフィルタ・温風空気取入口の掃除をしてください。（11ページ参照）
掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。
●温風吹出口・本体の掃除をしてください。（11ページ参照）
しめらせた布で汚れを落としてから、からぶきしてください。

3.保管する

●包装箱に入れて、湿気のない場所に水平に保管してください。
取扱説明書も大切に保管してください。

ご注意 ●逆さにしたり、傾けたり、横倒しの状態では絶対に保管しないでください。抜けきれなかった灯油がもれて火災のおそれがあります。

11 仕様

型式の呼び		GT-326Y（基本型式GT-324Y）
種類		気化式・強制通気形・強制対流形
点火方式		高圧放電点火
使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）
燃料消費量	最大	0.310L/h
	最小	0.064L/h
暖房出力	最大	3.19kW
	最小	0.66kW
騒音（正面）		34dB（最大燃焼時）／20dB（最小燃焼時）
油タンク容量		5.0L
燃焼継続時間		16.1時間（最大燃焼時）
標準適室		木造　15㎡（9畳）まで ／ コンクリート　20㎡（12畳）まで
外形寸法		高さ454㎜　幅400㎜　奥行309㎜（置台を含む）
質量		9.5kg
電源電圧及び周波数		100V　50／60Hz
定格消費電力		点火時最大 650/650W・燃焼時 21/21W
電流ヒューズ		管形ヒューズ 10A
安全装置		対震自動消火装置　過熱防止装置　点火安全装置　燃焼制御装置　停電安全装置　不完全燃焼防止装置　消し忘れ消火装置

12 アフターサービス

保証について

●このコロナ石油ファンヒーターには保証書がついています。「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受けとりになり、大切に保管してください。
●保証期間はお買いあげいただいた日から1年間です。
●次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
- 変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
- 誤った使用方法による故障や事故。

修理を依頼されるとき

●本書の「故障・異常の見分け方と処置方法」（12〜13ページ参照）の項にしたがって調べても良くならないときは、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店又は、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。
●ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
- ●品名
- ●型式の呼び
}保証書をごらんください。
- ●お買いあげ日
- ●故障状況（できるだけ具体的に）
- ●ご住所・ご氏名・お電話番号

●修理に際しては、保証書をご提示ください。保証期間中であれば保証書の規定にしたがって無料修理させていただきます。
●ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い求めの販売店かお近くのコロナお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■保証期間が過ぎているときは
●お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間
●石油ファンヒーターの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後6年です。

■修理に出されるときは
●輸送時や運搬時に給油タンク・固定タンク内に灯油が残ったままですと、傾きや振動で灯油がこぼれることがありますので、必ず抜き取ってください。